

たかねざわ 社協だより

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります！



高根沢町を良くするしくみ

昨年度は、2,686,959円のご協力をいただき、ありがとうございました。共同募金は高根沢町内や栃木県内で行われる様々な取り組みに基づいて募金運動を実施する計画募金です。そのため、運動の一つの目安として「目標額」が立てられています。

高根沢町内では、地域助成事業、障がい児交流事業、高齢者と子どもの交流事業、フードバンク事業、災害見舞金等の配分や地域福祉推進事業に活用されます。皆様のご協力をお願いいたします。

昨年度集まった募金は、高根沢町でこのように助成されています

※共同募金活用例の一部

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| ・地域助成事業（地域における福祉活動への助成）……200,000円 | ・朗読テープ配布事業……10,000円 |
| ・フードバンク事業……50,000円 | ・障がい児交流支援事業……150,000円 |
| ・心配ごと相談事業……100,000円 | ・約束のハンカチ事業……222,000円 |
| ・地域福祉サポート事業……100,000円 | ・育米事業……10,000円 |
| ・情報発信事業……300,000円 | ・こども食堂応援事業……20,000円 |



社協だよりは赤い羽根共同募金助成金により発行しています

令和4年度 各種会費・募金のお知らせ

① 社会福祉協議会会費 目安額：500円

社協の活動は社会福祉法に基づき、住民参加の形で
行われています。

その方法の一つが「住民会費制」です。

社協の目的や活動に賛同できる方に財政面で協力を
頂いており、地域福祉の活動やボランティア活動に
直接的な住民参加が難しい方でも、『会費』という形で
地域福祉活動への参加いただける仕組みになっています。

② 愛の基金 目安額：200円

集まった額の100%が高根沢町の社会福祉の振興を
目的として積み立てられ、福祉事業などに活用されて
います。毎月「広報たかねざわ」に募金総額を掲載し
ています。

③ 赤い羽根共同募金 目安額：600円

赤い羽根共同募金は戦後の昭和22年に始まり、現
在は「じぶんのまちを良くするしくみ。」をテーマに
全国一斉に行われています。

集まった募金の54%は高根沢町の福祉活動や事業、
自治会やボランティアなど団体の取り組みに、残り約
46%は県内の市町を越えた広域での活動、災害時の備
えに活用されています。対象となる層も、子どもから
高齢者、障害のある方…など多世代にわたります。

④ 日本赤十字社会費 目安額：500円

日本赤十字社は、日本赤十字法に基づき、国や県の
補助に頼ることなく、地域の皆様からの寄付を唯一の
財源としています。

毎年5月を中心に「赤十字運動月間」を展開してお
り、高根沢町の日赤奉仕団も災害対応訓練での炊き出
しを行うなど、会員以外の方にも救急救命の講座など
の活動を行っています。

目安額について

会費・募金には目安額を設定しています。金額の設定は、既存事業と新規事業を
計画し実施していく為に必要な額や世帯数などから算出しています。

※必ずその額を強制されるものではありません。

なぜ『会費・募金』のご協力を募るのか。

1

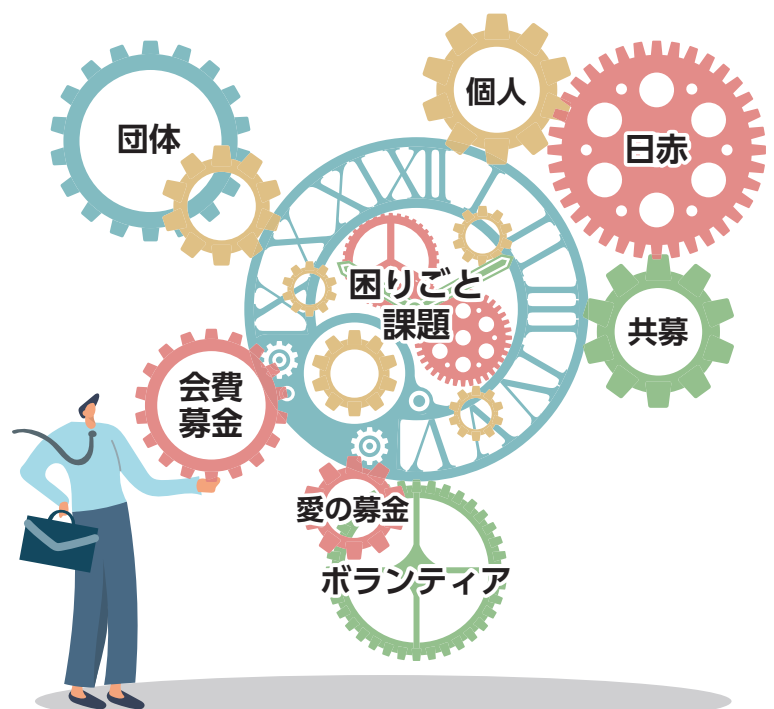
「社協会費」で運営される社協は、
地域課題の把握や解決への取り組み、
支援を行っており、地域福祉を回転
させるモーターの役割を担っています。

2

「共同募金」「日赤会費」「愛の基金」
は地域の福祉や活動を回す為に必要
な歯車です。

3

歯車が組み込まれることで、新し
い活動が生まれる、地域課題を解決
するための活動や個人・団体などの
補助になるなど、それぞれの取り組
みをつなぐ、連携の補助となります。



各会費・募金は“高根沢町”の地域課題に対する取り組みに活用されます。

【アイコンについて】 **社協** 社協会費／愛の基金 **共募** 赤い羽根共同募金 **日赤** 日赤会費



社協 イベント機材貸し出し



社協 サロン事業



社協 はつらつ運動教室



社協 育米



社協 介護用具貸し出し



社協 学校での福祉学習



社協 高齢者訪問



社協 志民活動応援



社協 配食事業



社協 民協農園の支援



共募 コロナ対策



共募 サマーボランティア



共募 フードバンク



共募 自治会活動への助成



共募 手話勉強会



共募 福祉講座



共募 募金活動



共募 防災まち歩き



日赤 災害物資支援



日赤 炊き出し訓練

令和4年度の会費・募金について

例年、各自治会にご協力いただいております「戸別募金」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リスクのない範囲で募金活動を展開していただけますようお願いいたします。

福祉のまちづくりの活動は、皆様の貴重な会費や募金などによって、支えられています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ】高根沢町社会福祉協議会 ☎675-4777

社協だより合併号
支え合い双六

見る知る ミルシル

じぶんの「まち」を

ミルシルとは「支え合いのある地域」の良さを知ってもらうため「自分らしく暮らせる地域づくり」を実践している方々を紹介する冊子で、現在 No.6 まで発行しています。今回の社協だより合併号では、オリジナル双六ゲームで、支え合いのある地域までの道のりを楽しく体験できます。ゴールまでたどりついたら、ホームページでご覧いただけるミルシルNo.1～No.6もチェックしてみてください。

スタート

生きがいを持って
自分らしく暮らせる
地域を目指そう!!



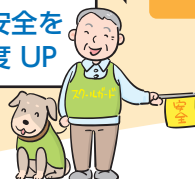
5マス戻る

今日は誰とも話をする
機会がなかった
社会性 DOWN



3マス進む

スクールガードで活躍
子どもたちの安全を
見守って貢献度 UP



3マス進む

趣味の編み物
サークルに参加
仲間に編み方を教えてあげて
やりがい UP



アクセント
ゾーンへ進む

アクセント
転んで利き腕を骨折



サイコロの数字と
同じマスへ進む

とまれ
地域の中に困っている人を
たくさん発見!

アイデア

見守り合いをするチームを
作って、1人暮らしの人を
仲間に入れたらどうだろう



6マス進む

助っ人
グランドゴルフの練習を
休んだら、仲間が様子を
見に来てくれた!

6マス進む

助っ人
スーパーでサロンの仲間と
ばったり。荷物を運んで
くれた!

アクセント
ゾーン

6マス進む

助っ人
野菜をおすそ分けしていた
お隣さんが、おかずを届け
てくれた!

アイデア

荷物を運んであげる買い物
ボランティアを作ったら
どうだろう

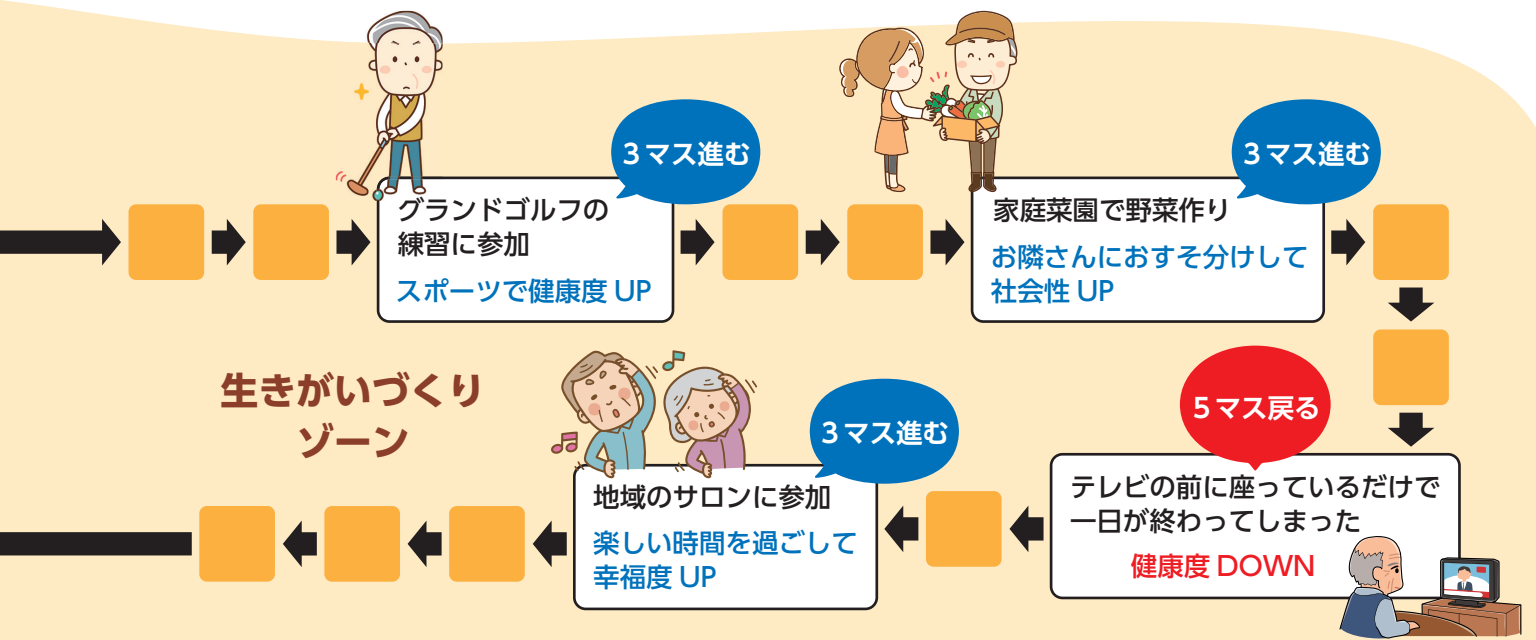


アイデア

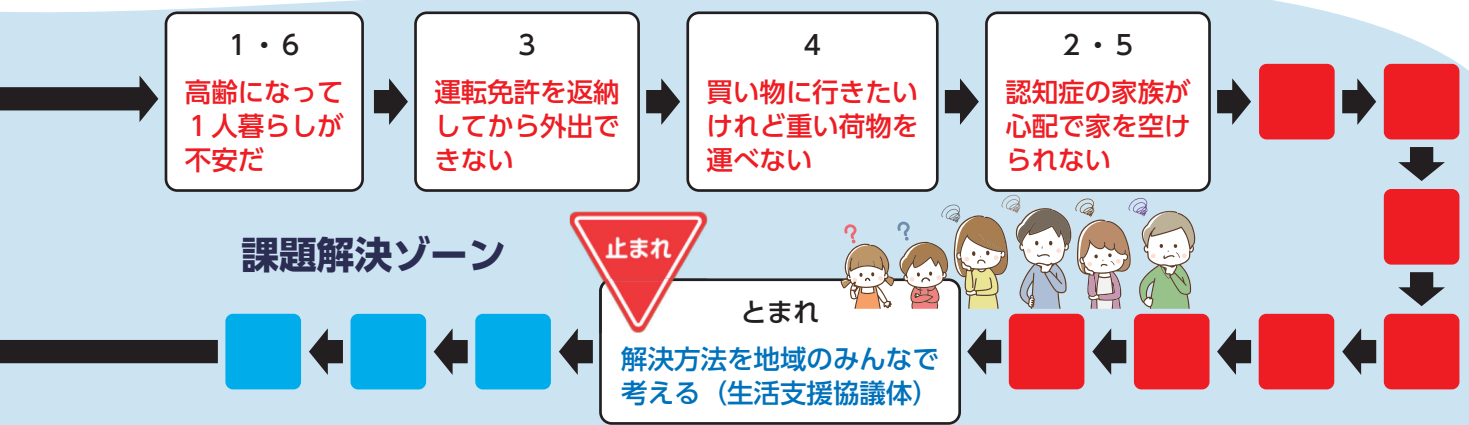
車を運転できる人たちがチ
ームを作って、出かけた
い人を
乗せてあげたらどうだろう



社会参加をしていると、自然と仲間（友人・知人）が増えます。「支え合い活動」というとちょっと身構えてしまうかもしれませんが、実は、**顔なじみの人同士がお互いに気に掛け合って、助けたり助けられたりする「お互いさまの関係になる」ということなのです。**



地域に出かけて色々な活動をする、**生きがいづくり**や**健康づくり**につながります。逆に、家にこもって誰とも交流する機会を持たない日々が続くと、身体はもちろん、心（精神状態）もどんどん衰えてしまいます。**積極的に社会参加をしましょう！**

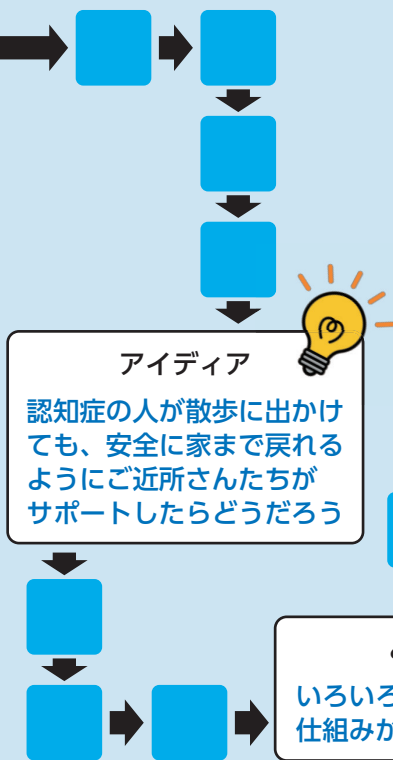


地域の困りごとの中には“**知り合いが困っていたので手を貸してあげた**”というくらいのちょっとした**助け合い**や**支え合い**で解決できることが、実はたくさんあります。そして、その解決方法をみんなで共有できる仕組みを考えるのが、**生活支援協議体**です。

生活支援協議体は、その地域に暮らす**住民が誰でも参加**でき、個人だけでなく団体や企業としても参加できます。自分の暮らす地域を元気にしたいという想いを持つ人々が集い、これからの地域をどんなふうにしていきたいか、自分たちにできることは何かを話し合っています。

◆高根沢町の生活支援協議体◆

- ・つながる絆あくつ協議体（阿久津中学校区）
- ・北高くらし支え合い協議体（北高根沢中学校区）



**こんな地域なら
高齢になっても
自分らしく
暮らすことができる！！**



令和3年度 社会福祉法人高根沢町社会福祉協議会

令和3年度事業報告並びに収支決算が6月9日の理事会・6月29日の評議員会において承認されました。

事業報告

〔事業概要〕

本会は、「地域福祉の推進」を図る団体として、地域住民やボランティア、福祉事業所等の関係者、行政機関、その他多様な機関との連携を図りながら、課題解決に向けた「人づくり、場づくり、仕組みづくり」に取り組んでいます。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の縮小や中止を余儀なくされましたが、『高根沢町地域福祉計画・地域福祉活動計画』の推進を中心に、貸付事業やフードバンク事業など生活に困窮する方に向けて必要な支援を拡充し、また、『地域支えあいセンターまるっと』において住民の課題を受け止める体制を整備するなど、「高根沢町の新しい生活様式」を意識した事業に取り組んでまいりました。

地域福祉事業

- △①地域福祉計画・地域福祉活動計画事業の推進
【愛の基金事業】
- ②地区座談会の開催(地域での開催が困難なため中止)
- ③赤い羽根共同募金地域助成事業
・助成件数：2件(太田自主防災会、南区自治会)
- ③生活支援体制整備事業
・中学校区ごとに協議体を設置し、高齢者を支える地域づくりを協議
- ☆④感染症対策用品の貸出
・新型コロナウイルス感染症対策用品(体温計、パーテーション等)の無料貸し出し

生活支援事業

- ①日常生活自立支援事業(あすてらす)
・判断能力の不十分な方への金銭管理代行、書類等の預かりを実施。延べ18名利用
- ◎②生活福祉資金貸付事業・新型コロナ特例貸付事業
・特例貸付176件(7,740万円)、特例以外の貸付1件(10万円)
- ③福祉金庫貸付事業
・貸付5件(14万円)
- ④行旅人旅費貸与事業
- ◎⑤フードバンクたかねざわの運営【共同募金配分事業】
・寄付340件(4,072kg)、支援225件(3,394kg)
・フードポスト拡充(食品回収拠点)：13カ所
- ⑥介護・介助用具貸与事業
・介護ベッド、車いすなどの貸出
- △⑦心配ごと相談所の開設【共同募金配分事業】
・毎月2回開設：18回、相談件数：8件
- ⑧法律相談事業の実施
・開設：4回、相談件数：20件

ボランティア、住民活動の育成・強化活動

- ①ボランティアセンターの運営
・ボランティア活動者の登録・マッチング、各種講座開催(中止)
- ②ボランティア保険助成事業
- ☆③志民活動サポートセンター事業
町民による社会貢献活動(志民活動)団体を支援し、まちづくりを促進
・志民活動メールボックス設置：4団体登録、地縁団体相談：1件
- ③学生ボランティア支援事業(中止)
- ④災害ボランティア養成講座(中止)

高齢者福祉対策事業

- △①ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援
・登録者数(ひとり暮らし高齢者295名、高齢者世帯：89世帯)
- ②安心見守り牛乳事業【愛の基金事業】
・牛乳宅配による安否確認154名
- △③一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ運動教室」の開催
・87回開催、延べ1,050名参加
- △④地域の居場所(ふれあいいきいきサロン)設置【愛の基金事業】
・15地区で設置
- ⑤高齢者見守り配食サービス
・ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への昼食配達を実施 利用127名、延べ配食数：7,820食

障がい者福祉対策事業

- ①視覚障がい者等への広報朗読テープ配布事業【共同募金配分事業】
・朗読ボランティア(みすず会)による「広報たかねざわ」、「社協だより」の読み替えテープを作成・配布
- △②定期手話講習会、講習生研修の開催【共同募金配分事業】
・講習会5回開催、クリスマス会を開催
- △③障がい児と支援ボランティアとの交流事業【共同募金配分事業】
・納涼祭(中止)、クリスマス会：15名参加

福祉教育(青少年福祉)事業

- △①こどもと高齢者の交流事業【共同募金配分事業】
・町内保育園にて地域の高齢者との交流会を実施
- ②児童生徒等に対する福祉体験講師派遣
・阿久津小学校(車いす、アイマスク、手話講話)、北小学校(車いす、アイマスク)
- ☆③育米(はぐくみまい)事業
・学校長期休業中(冬休み)の食料確保に困難を抱える子育て世帯への支援としてお米等を配布
・利用世帯：46世帯(お米460kg、日用品257kg)

☆新規事業 ◎拡充事業 △縮小事業 ●中止事業

事業報告・決算報告

災害時対策事業

- ①避難行動要支援者台帳の作成及び管理
 - ・登録者562名
- ②福祉避難所支援物品の整備【共同募金配分事業】
 - ・災害備蓄食品(アレルギー対応食)を補充
- ③町災害対応訓練への参画(中止)

福祉センターの指定管理運営

- ☆①総合相談事業
 - ・様々な相談の窓口として相談を受け止め、課題の解決や適切な相談機関につなぐ支援を実施
 - ・相談58件
- △②各種団体への会議室等利用
- ③福祉避難所拠点運用事業(中止)
- ☆④リモート会議専用スペースの整備
 - ・リモート会議環境を整えた会議室を、地域団体や福祉団体へ無料で貸出
 - ・利用32回
- △⑤高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進
 - ・囲碁、将棋、民舞、3B体操、フラダンス、手芸の各種サークルが活動

情報発信

- ①広報誌「社協だより」の発行【共同募金配分事業】
- ②町内各種イベントでの啓発
- ③ホームページ、SNS(フェイスブック、インスタグラム)での啓発

日本赤十字社事業

- ①災害救護物資(布団、毛布、緊急セット等)の給付
- ②赤十字奉仕団活動
 - ・総合訓練参加、フードドライブの運営協力

その他の活動

- ☆①新小学1年生、新中学1年生への感染対策用品贈呈【共同募金配分事業】
 - ・小学校1年生、中学校1年生を対象に感染対策(手洗い)励行のためのハンカチを配布。
 - ・シトラスリボンを刺繍したハンドタオル550枚配布
- ②不要入れ歯リサイクル
 - ・役場玄関、福祉センターに回収箱を設置
- ③善意銀行の運営
 - ・車椅子等の受贈
- ④各種委員会等への参画

募金活動

- ①赤い羽根共同募金 2,686,959円
- ②日本赤十字会費 2,184,400円
- ③愛の基金 1,094,768円
- ④社会福祉協議会費 2,188,800円
- ⑤各種義援金、救援金の受付

地域支えあいセンター事業

- ☆地域支えあいセンターまるっとの運営
 - ・「総合相談事業」、「ボランティアセンター事業」、「市民活動センター事業」を一体的に行うことによって多様化する相談を包括的に受けとめ、適切な支援につなぐ窓口を設置

決算報告

単位：円

収入の部		支出の部	
会費収入	2,188,800	人件費支出	44,362,034
寄附金収入	1,094,768	事業費支出	8,572,107
補助金収入	19,890,502	事務費支出	3,830,327
受託金収入	34,918,535	貸付事業支出	140,000
貸付事業収入	201,000	共同募金配分金事業費	1,762,388
事業収入	180,000	助成金支出	450,000
受取利息配当金	850,476	負担金支出	87,200
その他の収入	1,800	固定資産取得支出	1,509,762
前期末支払資金残高	9,950,996	その他の活動支出	1,176,360
計	69,276,877	計	61,890,178
		差引残高(次年度繰越)	7,386,699

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	10,927,087	流動負債	3,540,388
固定資産	150,446,211	固定負債	21,247,970
資産の部合計	161,373,298	負債の部合計	24,788,358
		純資産の部	
		純資産の部合計	136,584,940
		負債及び純資産の部合計	161,373,298

事業名	収入	支出	差引
1 法人運営	31,393,947	24,982,612	6,411,335
2 高齢者ネットワーク事業	3,131,165	3,173,347	△ 42,182
3 地域の居場所活性化事業	518,024	518,024	0
4 生活福祉資金事業	1,338,723	1,343,241	△ 4,518
5 地域福祉活動計画策定事業	3,756	3,756	0
共同募金配分事業	2,759,115	2,762,388	△ 3,273
6 地域福祉活動費	1,349,115	1,401,676	△ 52,561
7 障害者福祉活動費	230,000	228,069	1,931
8 児童・青少年福祉活動費	170,000	122,643	47,357
9 災害援助費	10,000	10,000	0
10 機動力整備	1,000,000	1,000,000	0
11 一般介護事業	5,619,049	5,635,081	△ 16,032
12 福祉センター指定管理事業	6,239,048	5,311,591	927,457
13 生活支援体制整備事業	12,334,633	12,358,063	△ 23,430
14 法律相談事業	199,175	200,160	△ 985
15 配食サービス事業	1,446,271	1,449,688	△ 3,417
16 重層的支援体制整備移行準備事業	8,786,000	8,786,069	△ 69
17 福祉金庫貸付事業	281,813	140,000	141,813
小計	74,050,719	66,664,020	7,386,699
内部取引消去額	△ 4,773,842	△ 4,773,842	0
合計	69,276,877	61,890,178	7,386,699

弁護士による無料法律相談

町民を対象とした相談会です。弁護士による専門的で適切な助言指導を行います。

- ◆日時 11月11日(金) 9:30～12:00
- ◆場所 福祉センター
- ◆定員 5名 (1人30分程度)
- ◆申込み 10月11日(火) 8:30から電話申込み (定員になり次第終了)
- ◆申込み・問合せ先
社会福祉協議会 地域支えあいセンター(まるっと)
☎612-3440

※過去に無料法律相談を利用された方については一部制限があります

見守り配食サービスのお知らせ

令和4年8月1日から配食業者が**3カ所**になりました。

- ◎いぶき ぐりーん弁当 ◎宅配 Cook 1.2.3
- ◎ワタミの宅食 **【NEW】**

【対象者】

- ◎65歳以上の独居・高齢世帯対象。
※介護保険が事業対象者に該当する方
- ◎1食:300円
- ◎昼食のみ、週3日まで利用可能。
- ◎土日祝日、年末年始はお休みです。
- ◎キャンセルは前日17:00まで。
- ◎原則手渡しで対応しています。
ご本人がお受け取り下さい。

【配食サービス専用】

- ☎675-5566 受付時間 9:00～17:00

傾聴ボランティア講座の開講について

傾聴は“敬聴”なり！なぜ聴くことが大切なのか？
他者を尊重し、理解することの大切さと周りの人の心に寄り添うコツを学びます。

- ◆日程 令和4年11月18日(金)・25日(金)の2日間
午後1時30分～4時
- ◆会場 高根沢町図書館
中央館2階 アートホール
- ◆講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会
会長 黒川 貢氏
- ◆定員 30名程度
- ◆参加費 無料
- ◆対象者 町内在住で傾聴ボランティアに興味のある方で2日間とも参加可能な方
- ◆主催 高根沢町社会福祉協議会
- ◆締切り 令和4年10月31日
※なお、定員になり次第締め切らせていただきます
- ◆申込み・問合せ先
社会福祉協議会 地域支えあいセンター(まるっと)
☎612-3440 FAX:612-3441

フードバンク配布相談会のお知らせ

原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰等の影響により日常生活にお困りの方々へ食料品の無償提供および相談会を開催します。

- ◆日時 10月3日(月) 9時～17時
- ◆場所 (1)社会福祉協議会(福祉センター)
(2)健康福祉課(高根沢町役場)
- ◆対象者 町内在住で、様々な理由により日常生活にお困りの方
- ◆内容 食料品詰合せ・お米5kgを無償で提供します。
(1世帯につき各1)
※食料品配布の際に、相談員よりお困りの状況を伺います。
- ◆申込方法 食料品の配布と相談をご希望の方は、下記受け取り場所にお申込みください。
〈要予約〉
- (1)社会福祉協議会 ☎675-4777
- (2)高根沢町健康福祉課 ☎675-8105
- ◆問合せ先
社会福祉協議会 ☎675-4777



編集
発行

健康で、明るく、安心して暮らす

「ふっつにくらすしあわせ」のまちづくり

社会福祉法人 高根沢町社会福祉協議会

開館：8時30分～17時15分
休館：土日祝祭日・年末年始

〒329-1225 高根沢町石末1825 福祉センター
Mail: takanezawa@takashakyo.jp
TEL: **028-675-4777** FAX: **028-675-6953**



たかねざわ社協

検索